



足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎(3880)5111 No.187

第3回 定例会

70
古紙配合率70%
再生紙を使用しています



あたち区民まつり
A-Festa 2001 (荒川河川敷「虹の広場」)

第3回定例会 会議のあらまし

平成13年第3回定例会は、9月18日から10月19日までの会期32日間で開催しました。今定例会では、区長から提出された議案40件、報告1件、議員から提出された議案5件及び区民のみなさんから提出された請願・陳情について審議しました。結果については、それぞれ本文記載のとおりです。

平成12年決算を認定

区長が提出した平成12年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「老人保健医療特別会計」「用地特別会計」の5会計決算議案については、決算特別委員会を設置し審査しました。

同特別委員会では、10月2日から11日までの6日間にわたる審査の結果、5会計決算をいずれも認定し、本会議においても認定の議決をしました。

平成13年度補正予算案を可決

区長が提出した平成13年度「一般会計補正予算(第1号)」「介護保険特別会計補正予算(第1号)」「用地特別会計補正予算(第1号)」の3会計議案は、全て原案のとおり可決しました。

その他の区長提出議案31件を原案可決

その他の区長提出議案31件は、原案どおり可決し、1件については、取り下げられました。

議員提出議案のうち、2件を可決、1件を否決

議員提出議案「平和を脅かすテロ行為を非難する決議」、「被害ヤコブ病問題の早期解決に関する意見書」の2件は、いずれも全会派一致により可決し、意

見書については、関係機関に提出しました。また、新たに提出された「足立区介護保険条例の一部を改正する条例」については、一部を改正する条例については否決とし、「足立区生業資金貸付条例の一部を改正する条例」「足立区乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」については、引き続き継続して審査することにしました。

なお、先に提出され、継続案件となっていた10件の議案については、取り下げられました。

請願・陳情を審査

区民のみなさんから提出された請願10件、陳情20件は、不採択3件、継続審査26件、撤回1件となりました。

主な内容

- 区政を問う(各会派代表・一般質問)……………2～5頁
- 議決結果……………5～6頁
- 報告……………6頁
- 意見の分かれた案件……………6頁
- 決算特別委員会での審査と本会議の議決……………6頁
- 各会派の意見・要望……………7頁
- 平成12年度各会計決算額のグラフ……………8頁
- 今定例会で可決した意見書・決議……………8頁
- みなさんからの請願・陳情……………8頁
- 議会短信……………8頁

議員(立候補予定者を含む)が、選挙区内にある者に対し、お歳暮・お年賀の贈りものをする場合は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をも以て禁止されています。また、受け取った人も、罰せられます。年賀状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。

区民の皆様におかれましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

問

代表・一般質問は平成13年9月18日・19日・20日に開会された第3回定例会本会議で行われました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する12名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行に当たる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党



加藤 和明 議員

「財政構造そのもの」とは

【問】予算編成方針の中で、これまでの改善は、「財政構造そのものの改善には至っていない」とあるが、「財政構造そのもの」とは何か。足立区における財政構造の特徴を伺う。

また、どのような施策が必要なのか。当面の景気動向の影響をどうみているのか伺う。

【答】特徴としては、官活による補助を活用しているため、国・都の施策に左右され易いこと、担税力の低さが挙げられる。

このため、職員定数削減、受益者負担の見直しなど、減量型改革を実施しているが、さらに民間活力の活用、雇用の創出、庁内組織の改革などに努めている。

また、景気動向により、財源の30%を占める住民税法人分も影響を受けると考える。

佐野・六木地区の土地区画整理事業費を拡大せよ

【問】佐野・六木地区の総事業費約250億円に対し、今年度予算は7億円である。来年度以降の事業費が今年度と同程度では、平成27年度に完成できると思えない。事業費を拡大して事業の進捗を図るべきではないか。

【答】今年度の事業費は、区の財政状況や移転・工事の初年度であることから事業費を圧縮せざるを得なかった。来年度以降、早い時期に事業計画に沿っ

た事業費を確保し、事業の進捗を図りたい。

今後の都市基盤整備について

【問】土地区画整理事業により、良好な基盤整備が行われ、無秩序な市街化が防止されるなど成果を上げている。都市計画決定後30年余が経過し、都市化が進んでいるが、最近の財政難から土地区画整理事業の実施が困難な地区があると思われる。

今後、道路・公園などの基盤整備をどのように進めていくのか伺う。

【答】地区計画制度を活用し、道路計画に基づいた街路網を実現し、公園等の充実を図る。

【問】土地改良や耕地整理が終了したところの用途地域を今後変更すべきと考えるがどうか。その際緩やかな地区計画により土地利用規制を緩和できないか。

【答】土地改良済みなどの区域においては、一定水準までの整備がなされていることから、緩やかな地区計画により、土地利用規制を緩和していく。

なお、この方針は、保塚地区や平野地区をモデル地区として取り組んでいく。

六木三丁目 → 綾瀬駅

コミュニティバス計画について

【問】営団地下鉄北綾瀬車庫に新駅を設置することが難しいことから、対応策として新たなコミュニティバス計画が具体化していると思う。ルート、運行計画、地元との関わりなどを伺う。

また、内匠橋へのバス路線計画についても伺う。

【答】綾瀬駅から六木三丁目までの約6.7kmについて、平成14年1月下旬の運行開始を目指す。本地域は、道路幅員が狭いことから地元の協力を頂きバス停の設置、歩道の確保を進めている。

内匠橋のバス路線は、今後とも実現に向け努力していく。



学校における問題行動等の対応について

【問】不登校をはじめ、反社会的な問題行動については、日頃からのきめ細かな対応が問題未だに防げずと考えるが、どうか。

【答】スクールカウンセラー等の専門家を学校に派遣し、教育相談を活かした授業や学校経営のあり方について教師とともに考える機会を設けたり、教育相談に関する研修を実施し、教師のカウンセリング能力の育成をすすめている。

田中 章雄 議員

旧本庁舎跡利用について



【問】吉田前区長が複合庁舎案を撤回したこと、どのような経費が泡と消え、一体どれくらいが無駄になっているか。これほどの損害の総額について伺う。

【答】これまでに要した費用は、コンサルティング委託、基本設計などの委託料、区と活性化センターの事務費等、土地開発公社、活性化センターによる用地買収費、解体経費など合計約15億7千200万円である。さらに、足立信金に対し、費用弁償金として約680万円を支出している。

【問】何らかの代案もなく、白紙撤回された庁舎跡地に、新たな計画を民間誘導で立案しようとしているが、区として何をしたいか見えてこない。現在、事業プロポーザルの第二次提案の段階と聞かすが、進捗状況を伺う。

【答】本年11月12日に提案を締め切り、審査を経て、平成14年1月中旬には、区長が最優秀案を決定する。なお、具体的な事業化は、優先交渉権者との交渉によりスタートする。

一方、プロポーザルの審査対象外の各種の事業化に向けた課題、諸条件の適用等は、交渉が始まる前に議会に提示していく。保育園の待機児ゼロを目指す。

【問】認証保育所第1号が北千住にオープンしたが、保育園の待機児解消には、焼け石に水という状況だ。区長は、公約の中で、駅前保育室などの誘致、公立保育園での休日保育や保育時間の延長、保育ママの充実などを掲げている。待機児解消の最終的な目標年次とそのための経費はどのくらいか。また、公立保育園の民営化も検討すべき時期と思うが、どのような計画を持っているのか伺う。

【答】明確な目標年次を定めることは困難であるが、できるだけ早い時期に待機児ゼロに向けて努力する。また、これらに要する経費をすべて公立保育園で解消するためには、年間約12億円の運営経費が必要である。

公立保育園の民営化については、今後の保育需要や園舎の改築、職員の退職など、効率性の視点から現在検討している。

【問】平成14年度に施行されるいわゆる「派遣法」によると、公社への派遣職員には福利厚生制度が一部適用されない。これを補填するために多額の費用を投じると聞かすが、人件費の削減という行革路線の中にあつた公社が逆に人件費の増加を招いては、本末転倒である。この際、公社事業の直営化、民営化を検討すべきと思うがどうか。

【答】区自身が民間経営手法や経営センスを身に付けはじめていく中で、公社の役割を根本的に見直す時期に来ている。このため、「派遣法」の施行も考慮し、統廃合も含めた公社のあり方について検討に着手した。また、福利厚生制度の補完措置につい

ては、検討中である。



新井ひでお 議員

省資源・省エネ対策について

【問】当区では、省資源・省エネルギー問題に関する啓発を地域ぐるみで進めるとあるが、今日までの具体的な行動内容と効果及び今後の課題を示されたい。

また、区として国際規格ISO14001の認証を取得し、更に環境問題先進区となるべきと思うがどうか。

【答】今年度の啓発事業として、環境家計簿の普及、環境通信簿事業、環境見学会などを実施している。これらの事業は、まだ緒についたばかりで評価できる段階ではないが、努力していく。ISO認証取得については、庁内でその有効性や費用対効果など検討を進めている。

【問】ヒートアイランド現象の緩和には、緑を増やすことが効果的である。国では屋上、屋外緑化に税の軽減措置を講じた。都も緑化の義務付けとともに、容積率の割増を行っている。区レベルでも屋上緑化に対し助成制度を実施している区もあるが、当区の検討状況を伺う。

当区の検討状況を伺う。

代表・一般質問

傍聴してみませんか 区議会本会議は公開されています

区政を

【答】屋上緑化は、緑被率向上とヒートアイランド現象の対策に有効な手法である。今後は、屋上緑化への誘導・支援策について技術的な支援や容積率の緩和などを検討していく。

【問】巨額の国費を食いつぶしながら官僚の天下り先として肥大化した特殊法人が整理されることは好ましいが、当区のまちづくりに関連してきた都市基盤整備公団も例外ではない。

【問】国土交通省は、道路特定財源の使途拡大に伴い、いわゆる「開かずの踏切解消」に無利子融資制度を創設し、事業を促進するとしている。

【問】北千住については、鉄道立体化は困難であり、道路の地中化を検討している。

【問】西新井については、鉄道立体化が望ましく、都の関係部局の理解を求めている。

【問】竹の塚については、西口地区の市街地整備事業の進捗を踏まえ、都の関係部局や鉄道事業者と調整を図っている。

【問】区は区政、財政、社会の三つの構造改革を円滑に進めるため、組織、機構の改革を行ない、庁内体制をより一層適正化し、組織・定数管理を進めるとしている。そこで、廃止を含めた再編成について、当該公社等の名称と実施年度を伺うとともに、方針には、ある程度の具体的な素案があると思う。議会への積極的な情報の公開があつてしかるべきと思うがどうか。

【問】昨年度末に足立区電子自治体推進会議を設置し、ITを活用した区民サービスの向上と構造改革を推進するための「足立区電子自治体計画」策定に向けた検討を行なっている。

【問】聴覚障害者を持って生まれた赤ちゃんも生まれてすぐに発見し適切な療育を施せば、聴力が正常な子どもと、同程度まで言葉を習得できる。公明党として本年3月に聴力検査の早期実施を求める署名を行ない、都知事に提出をしたが、区としても指導力を発揮して、関係機関に対し、検査器械導入に積極的に働きかけるべきと思うがどうか。

【問】国や都の動向を見守りつつ、区内医療機関に対して検査方法や検査機器に関する情報提供に努めていく。

【問】河川・水路総合利用計画では、毛長川を「花の川・毛長川」として、河川沿いの環境整備をするにあつたが、沿岸住民はこの計画が立ち消えとなったことに失望している。そこで、次のことを提案する。毛長公園を川と一体とした河川シンボル拠点公園とすることや、川の堤防をできるだけ自然堤防に近づけ自然環境を創出させたり、また、堤防を活用した緑化や武蔵野の路の延長などの取り組みをすべきと考えるがどうか。

【問】毛長公園は、シンボル拠点公園としての整備計画はあるが、まずは治水整備を優先に進めなければならない。計画の実現について今後、都との調整を進める。また、自然堤防化は、河川構造的に困難であるが、植栽や水性植物の活用等を都に要望していく。武蔵野の路は事業完了しているが、今後は沿川の住民の意見を伺っていく。

【問】現在考えられる本事業の内容と今後のPFI事業者の選定に至るまでの仕組みとスケジュールについて伺う。

【問】事業内容は既存設備の撤去、工事中の仮設自転車駐車の整備を含む設計、建設、運営・維持管理業務を予定している。本年10月下旬頃に募集要項を配布、審査・交渉・契約を経て14年度下半期に工事着手、15年度に管理運営開始予定である。

【問】区は区政、財政、社会の三つの構造改革を円滑に進めるため、組織、機構の改革を行ない、庁内体制をより一層適正化し、組織・定数管理を進めるとしている。そこで、廃止を含めた再編成について、当該公社等の名称と実施年度を伺うとともに、方針には、ある程度の具体的な素案があると思う。議会への積極的な情報の公開があつてしかるべきと思うがどうか。

【問】昨年度末に足立区電子自治体推進会議を設置し、ITを活用した区民サービスの向上と構造改革を推進するための「足立区電子自治体計画」策定に向けた検討を行なっている。

【問】聴覚障害者を持って生まれた赤ちゃんも生まれてすぐに発見し適切な療育を施せば、聴力が正常な子どもと、同程度まで言葉を習得できる。公明党として本年3月に聴力検査の早期実施を求める署名を行ない、都知事に提出をしたが、区としても指導力を発揮して、関係機関に対し、検査器械導入に積極的に働きかけるべきと思うがどうか。

【問】国や都の動向を見守りつつ、区内医療機関に対して検査方法や検査機器に関する情報提供に努めていく。

【問】河川・水路総合利用計画では、毛長川を「花の川・毛長川」として、河川沿いの環境整備をするにあつたが、沿岸住民はこの計画が立ち消えとなったことに失望している。そこで、次のことを提案する。毛長公園を川と一体とした河川シンボル拠点公園とすることや、川の堤防をできるだけ自然堤防に近づけ自然環境を創出させたり、また、堤防を活用した緑化や武蔵野の路の延長などの取り組みをすべきと考えるがどうか。

【問】毛長公園は、シンボル拠点公園としての整備計画はあるが、まずは治水整備を優先に進めなければならない。計画の実現について今後、都との調整を進める。また、自然堤防化は、河川構造的に困難であるが、植栽や水性植物の活用等を都に要望していく。武蔵野の路は事業完了しているが、今後は沿川の住民の意見を伺っていく。

【問】現在考えられる本事業の内容と今後のPFI事業者の選定に至るまでの仕組みとスケジュールについて伺う。

【問】事業内容は既存設備の撤去、工事中の仮設自転車駐車の整備を含む設計、建設、運営・維持管理業務を予定している。本年10月下旬頃に募集要項を配布、審査・交渉・契約を経て14年度下半期に工事着手、15年度に管理運営開始予定である。

足立区議会公明党



金沢美矢子 議員

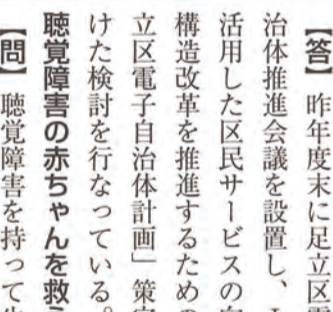
【問】区は、予算編成方針による決算重視の予算編成、財政運営を目指すとしているが、これは区にとって大変な改革であり、事は予算・決算審議に臨む議会側の対応をも改革せしめたい。そこで、今後の議会対応を含めたその手法や考え方と有効に機能していない事例について具体的に示してもらいたい。

【問】区は、予算編成方針による決算重視の予算編成、財政運営を目指すとしているが、これは区にとって大変な改革であり、事は予算・決算審議に臨む議会側の対応をも改革せしめたい。そこで、今後の議会対応を含めたその手法や考え方と有効に機能していない事例について具体的に示してもらいたい。

【問】区は、予算編成方針による決算重視の予算編成、財政運営を目指すとしているが、これは区にとって大変な改革であり、事は予算・決算審議に臨む議会側の対応をも改革せしめたい。そこで、今後の議会対応を含めたその手法や考え方と有効に機能していない事例について具体的に示してもらいたい。



【問】区は区政、財政、社会の三つの構造改革を円滑に進めるため、組織、機構の改革を行ない、庁内体制をより一層適正化し、組織・定数管理を進めるとしている。そこで、廃止を含めた再編成について、当該公社等の名称と実施年度を伺うとともに、方針には、ある程度の具体的な素案があると思う。議会への積極的な情報の公開があつてしかるべきと思うがどうか。



【問】昨年度末に足立区電子自治体推進会議を設置し、ITを活用した区民サービスの向上と構造改革を推進するための「足立区電子自治体計画」策定に向けた検討を行なっている。



【問】河川・水路総合利用計画では、毛長川を「花の川・毛長川」として、河川沿いの環境整備をするにあつたが、沿岸住民はこの計画が立ち消えとなったことに失望している。そこで、次のことを提案する。毛長公園を川と一体とした河川シンボル拠点公園とすることや、川の堤防をできるだけ自然堤防に近づけ自然環境を創出させたり、また、堤防を活用した緑化や武蔵野の路の延長などの取り組みをすべきと考えるがどうか。



うすい浩一 議員

【問】昨年4月、モデル校5校で始まった開かれた学校づくりは、本年新たに41校が加わり、より拡大された。各学校では、特色を活かし、家庭、学校、地域が連携協力して子どもの成長を支える取り組みについて鋭意協議している。開かれた学校づくりだよりには、各学校での取り組みや工夫が掲載されているが、このような広報誌だけでは、情報として十分ではない。そこで、これらの情報をお互いが知ることができるよう開かれた学校づくりの実践報告発表会ともいえるシンポジウムを開催してはどうか。

【問】情報共有することは、各学校が創意工夫を重ねた活動を進める上で重要で、意義あるものと考え、「シンポジウム」等の形式を含め、各学校の取り組んだテーマや実践内容等を発表し合う場を設けていく。

【問】来年度より実施される新学習指導要領には、西洋音楽中心だった小中学校の音楽に邦楽が導入され、伝統音楽の学習や、



日本共産党足立区議団



大島 芳江 議員

和楽器を用いた授業が行なわれることは真に喜ばしい。その講師等の人選や待遇についてはどのように考えているのか。

【答】学校の指導計画に応じて、講師としてふさわしい方に学校支援ボランティアとして、学校が人選し依頼することを基本とし、実費の支給については、今後、検討していく。

【問】小泉改革は、倒産と失業を進める不良債権処理や国民にいつそうの負担を迫る消費税増税計画、連続する医療改悪など社会保障の後退、地方分権で国の責任はいまいにして仕事だけは自治体にゆだねるという古い従来型政策のいつそうの徹底であり、石原都政の財政再建プランは、福祉の切りすてで都民の将来不安と困難をいつそうひどくしている。区長もこのような区民に痛みを押し付ける「改革」をすすめるのか。

【答】区も構造的な改革をさらに進めなければならないと考える。改革の必要性は広く区民の理解を得たのではないかと思っている。

介護保険料軽減を求める

【問】10月から65歳以上の介護保険料の満額徴収が始まる。保険料倍額による負担増が高齢者の生活を直撃する。経済的負担が高齢者のサービス利用を控えさせ、家族介護が減らない理由ともなっており、社会的介護の実現という法の趣旨から大きく外れることになる。保険料の軽減を国や都に要求するとともに、9月補正で区独自でも行うべきと思うがどうか。

【答】安易に保険料軽減を行うことは、介護保険財政基盤を大きくゆるがすものである。保険料軽減を国や都に要求し、また区独自の軽減を行う考えはない。

【問】日本庁舎跡利用計画について

【答】日本庁舎跡利用計画作成のため区長が採ったプロポーザル方式は、区民の財産である区有地の活用という点で区民要望が集約されず、公共性の担保も将来の財政負担も不透明なこのやり方は、区民の利益を守る立場から反対である。区民要望をしっかりと聞くため、開かれた区民懇談会など数多く開催し、区財政の改善を進める中で区の計画を作成し直すことが必要と考える。当面は暫定利用を充実させ、人の流れとにぎわいを取り戻すべきと思うがどうか。

【問】今後、第二次応募提案を審査委員会でも審査し、委員会の答申を受け、最優秀提案を区長決定していく計画である。審査及び区長決定に当たり、事業の安定性、区民要望などについて十分検討、考慮し、議会の理解を得、1日も早く事業に着手していきたい。

【問】区は千住地域の学校統廃合計画に関し「旧文部省のUターン通達を尊重して進めている」と答えている。しかし、区は小中学校合同の「統合協議会」設置を強行し、一方でPTA・保護者が区教委に地元地域での話し合いを求め「統廃合が前提でなければ」と否定的である。PTA・保護者と子どもたちの理解は得られていない。区は「学校統廃合計画」の押し付けを止め、来年度の学校統廃合は中止すべきではないか。

【答】統合地域協議会では地域の総意が確認できると考える。千住地域の適正配置全体計画は、地元と十分協議しながら計画どおり進めていく。

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】この制度は、民間委託事業を拡大する事によって、雇用の拡大を図るという目的で創設されたが、一年後の調査では、雇用目標数の半数にも及んでいなかった。これは、一時的雇用の拡大のみを意識したこと、雇用期間を6ヶ月としたこと、長

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について



【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について



【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について



【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について



【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について



【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について

【問】区政診断制度全般について

【答】区政診断制度全般について



【問】区政診断制度全般について

燃料については、過去に調査したことがあるが、さらに先進事例を調査するなど、有効性について引き続き検討していく。

【問】学校の腰洗い槽は、瞬間的に汚れた手や指を殺菌できる塩素濃度の槽に子どもたちをつからせるものである。足立区の小中学校では多くの学校が使用

無

会

派



えびね久美子 議員

軽度生活援助事業を利用しやすい制度にするよう改善を求める

【問】軽度生活援助事業は、派遣時間帯が月曜日から土曜日、午前9時から午後5時まで、利用できる人が介護保険支給限度額を超え、訪問介護を5割以上利用している場合という制約がある。そのため痲痺がある場合、

している。目黒区では国の基準改正を受けて、94年に廃止したが、病原菌やウイルスが発生したとの報告は出ていない。そこで、子どもの健康を第一に考える立場から、腰洗い槽を廃止すべきと思うがどうか。

【答】使用については、各学校の判断としているが、廃止の是非については、水質やシャワー設備の状況を踏まえ検討する。

【答】訪問介護を5割に限定しないことについては検討していく。派遣時間帯を超えると時間外単価の設定が必要な場合もあり、慎重に検討していく。

子育てアドバイザーについて

【問】「子育てアドバイザー」について以下何う。①事業計画書のファミリリーソーシャルワーカーの領域でも重要な役割に位置付けられていると思うがどうか。

②相談時間を9時〜12時としている理由は。③こども家庭支援センター閉館まで配置すべきではないか。④相談部屋を工夫せよ。⑤交通費も必ず責任ばかり押し付けられるとの声も聞いている。⑥ボランティアでなく一定賃金を支払うべきではないか。

【答】子育てアドバイザーは意欲的なボランティア活動であり、これからの子育て支援にとつて非常に重要な役割であると考えられる。こども家庭支援センターでは相談の場として子育てサロン事業を展開していく。開館時間や費用弁償等の内容については今後具体的に詰めていく。



第3回定例会での議決結果

決算

認定したもの

平成12年度足立区一般会計歳入歳出決算

平成12年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算

平成12年度足立区介護保険特別会計歳入歳出決算

平成12年度足立区老人保健医療特別会計歳入歳出決算

平成12年度足立区用地特別会計歳入歳出決算

(5会計の決算のグラフを8頁に掲載)

補正予算

可決したものの

平成13年度足立区一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ55億6千989万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2千174億6千989万7千円とするほか、債務負担行為の追加をするもの

(日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

平成13年度足立区介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5億8千146万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ205億8千690万9千

円とするもの

条例の制定・改正

可決したものの

足立区国民健康保険出産費資金貸付基金条例

出産資金の貸付けを円滑かつ効率的に行うため、基金を設置するもの

足立区国民健康保険出産費資金貸付条例

国民健康保険被保険者の福祉向上のため、出産資金の貸付けを行うもの

足立区特別区税条例の一部を改正する条例

地方税法改正に伴い、規定を整備するもの

足立区立学童保育室条例の一部を改正する条例

保護者負担金を改定するとともに、入室承認に関する規定を整備するもの

(日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

足立区大谷田就労支援センター

大谷田就労支援センターを開設するもの

足立区被災市街地復興整備条例

大規模な地震により被災した市街地の復興整備に関し、基本となる事項を定めるもの

足立区公共溝渠管理条例の一部を改正する条例

商法の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区立学校設置条例の一部を改正する条例

区立学校を統廃合するもの

足立区立学校設置条例の一部を改正するもの

(日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

足立区生きがい奨励金支給に関する条例の一部を改正する条例

生きがい奨励金の支給額を改定するとともに、支給対象者を明確にするもの

足立区東綾瀬公園プール・アイススケート場条例の一部を改正する条例

東綾瀬公園プール・アイススケート場のうち、アイススケート場を廃止するもの

足立区介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険料の負担を軽減するもの

(日本共産党足立区議団より賛成の立場から、足立区議会自由民主党より反対の立場から討論あり)

足立区立学童保育室条例の一部を改正する条例

保護者負担金を改定するとともに、入室承認に関する規定を整備するもの

(日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

足立区大谷田就労支援センター

大谷田就労支援センターを開設するもの

足立区被災市街地復興整備条例

大規模な地震により被災した市街地の復興整備に関し、基本となる事項を定めるもの

足立区公共溝渠管理条例の一部を改正する条例

商法の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区立学校設置条例の一部を改正するもの

区立学校を統廃合するもの

足立区立学童保育室条例の一部を改正するもの

乳幼児医療費助成制度の所得制限を撤廃するもの

請負契約

可決したものの

(仮称)関原二丁目コミュニティ住宅五号棟増築工事請負契約

相手方 服部建設株式会社

契約金額 1億9千845万円

契約方法 指名競争入札

(仮称)総合文化センター電気工事請負契約

相手方 トーテック・チネン

契約金額 2億8千875万円

契約方法 指名競争入札

(仮称)総合文化センター舞台機構工事請負契約

相手方 カヤバ工業株式会社

契約金額 4億4千100万円

契約方法 指名競争入札

(仮称)総合文化センター舞台音響工事請負契約

相手方 田中電気株式会社

契約金額 2億8千140万円

契約方法 指名競争入札

(仮称)総合文化センター舞台照明工事請負契約

相手方 株式会社松村電機製作所

(仮称)総合文化センター空気調和工事請負契約

相手方 関冷・東洋・玉紘建設共同企業体

契約金額 6億1千482万7千500円

契約方法 指名競争入札

撤回を承認したものの

(仮称)総合文化センター空気調和工事請負契約

相手方 関冷・東洋・玉紘建設共同企業体

契約金額 6億1千482万7千500円

契約方法 指名競争入札

その他の議案

可決したものの

特別区人事及び厚生事務組合の規約変更について

特別区で共同で行う路上生活者対策事業に関する事務の追加及び特別区の住民の交通事故による災害共済に関する事務の共同処理を廃止するために、規約の一部を変更するもの

損害賠償額の決定について

清掃車が荒川区町屋七丁目二番交差点を走行中、右側を並行していた自転車に接触し、被害者が転倒、肋骨骨折等の負傷を負わせ、損害を与えた賠償の額(102万1千170円)の決定

都市基盤整備公団による道路整備工事に関する同意について

道路整備工事を都市基盤整備公団が足立区に代わって施行することに同意するもの

「名称」①足立区画街路第7号線

②(仮称)区画道路第1号線

「区間」①新田三丁目8番21地先
②新田三丁目19番2地先
先く新田三丁目25番

足立区議会自由民主党

一般会計・介護保険特別会計……………認定
国民健康保険・老人保健医療・用地特別会計…認定

鈴木区長は、共産党区長の残した「赤字財政」からの脱却を区政の中心課題とし、大胆な行政改革と積極的な民間活力の導入に向けて、不退転の決意で取り組む姿勢を表明した。

平成12年度は、地方分権の推進、都区制度改革による清掃事業などの事務事業の移管、介護保険の実施など新たな課題に取り組まなければならない年であり、鈴木区長自らが予算編成する最初の年度であった。その予算は「2年間で赤字体質から脱却」という方針の下に、5つの基本施策を中心に編成され、執行されたものである。

一般会計は、前年度と比較して18億7千万円余、4.9%の減となり、自主財源の不足は将来に暗い影を投げ掛けている。その上、収入未済額の合計は58億4千万円余で、前年度比4億1千万円余、7.6%の増となっており、今後の区政運営を考える時、憂慮するものである。

そうした中、不納欠損額は、5億8千万円余であり、前年比2千414万円、4.0%の減になるなど、我が党が年来主張してきた公正・公平な区政運営をめざし、徴収方法に工夫がされつつあると、評価するものである。

一方、本決算委員会において論議された、入札制度のあり方、職員の勤務条件の見直し、NPO・PFIの活用など、区長の目指す「民間感覚の導入」については、いまだに全職員に徹底されていないきらいがあり、より一層の努力が望まれていると言わざるを得ない。

国民健康保険特別会計では、151億円の繰入金で補填しながら、決算上は52億円の黒字決算となっており、この部分だけをみると、あたかも黒字決算のようであり、保険料の値上げは必要ないかの様に思われかねない。適正な予算措置をされるよう特に望むものである。

介護保険特別会計においては、安易な保険料負担軽減は、制度そのものの根幹を揺るがす重大な問題であると我が党は確信している。将来に向けての不用額の積立は必要欠くべからざるものであり、給付準備基金積立は誠意をもって実行していくよう、特に申し添える。

なお、来年度以降の予算編成にあたっては、我が党委員から指摘・提案された多くの意見を十分に尊重し、その実現に努めるよう強く要望する。

足立区議会公明党

一般会計・介護保険特別会計……………認定
国民健康保険・老人保健医療・用地特別会計…認定

アメリカ国内で起きた同時多発テロ、米英軍によるタリバン空爆の影響、そして、世界的な株の暴落の恐れなど、不透明な状況の中、景気が悪化の一途をたどっている実態が、浮き彫りになっている。

こうした経済の一段の低迷と、経済不況の長期化の中で、足立区は厳しい財政状況をかかえつつ、「自治体再生」に向けて、今、懸命に区政運営の舵取りを行っている。取り分け、区財政の健全化は急務の課題であり、足立区が克服すべき最大の懸案事項である。

平成12年度決算を見ると、区財政は、実質単年度収支は、4年連続の赤字となったが、その赤字幅は、35億円から11億円へと縮小に転じた。経常収支比率についても、昨年度より4.2ポイント改善され、平成10年度の水準まで回復したが、依然として高水準であることに変わりはない。公債費比率については、前年度から1.4ポイント改善され、前年度を下回ったのは、平成4年度以来、8年ぶりである。

これらは、危機的状況にあった区財政の立て直しを図るため、財政健全化計画を策定し、さらに区長は、平成12年9月に、緊急財政対策本部を設置し、人件費の抑制、公共事業の事業調整、新規事業の凍結、事業の廃止を含めた事務事業の見直しなど、全庁あげて取り組んできた成果といえる。

今後は、行財政そのものの構造改革を進めることにより長期的安定した財政構造にしていかななくてはならない。来年度の予算編成に当たっては、本決算を踏まえ、不況の影響を直接受ける高齢者、母子家庭など社会的弱者に対する施策について十分に配慮するとともに、区民生活へのマイナス影響を極力抑えながら事業の優先順位を明確にし、行財政運営を図っていくべきである。

また、区長初め全職員は、最少の経費で最大の効果があがるよう創意工夫を重ね、区政運営に努めるべきである。

最後に、本決算特別委員会において、我が党各委員から区政全般にわたる数多くの提案、要望については、区民の声と真摯に受けとめ、来年度の予算編成に反映させると同時に、区政執行に当るよう要望する。

最後に、本決算特別委員会において、我が党各委員から区政全般にわたる数多くの提案、要望については、区民の声と真摯に受けとめ、来年度の予算編成に反映させると同時に、区政執行に当るよう要望する。

日本共産党足立区議団

一般会計・介護保険特別会計……………不認定
国民健康保険・老人保健医療・用地特別会計…認定

平成12年度予算は、鈴木区長が編成した初めての年間予算であり、区長の政治姿勢、財政運営方針を十分に盛り込むことができた予算であった。

また、地方分権の推進、都区制度改革に伴う事務移管、介護保険の実施等、区独自の手腕が発揮できる条件が生まれた時でもある。こういうときだからこそ、自治体本来の役割を發揮して、区民の暮らしや営業を支える行財政運営が求められていた。ところが区長は、ひたすら赤字を強調し、区民要求を抑え、区民に我慢を押し付ける「財政健全化計画」を強行した。

本決算で明らかになったことは、第一に、一般会計決算では、実質単年度収支も黒字にできる十分な条件が存在していたにもかかわらず、赤字にしたということである。このことは、監査委員審査意見書で、「52億円を一般会計にとどめておけば、財調基金20億円の取り崩しの防止や、減収補てん債の発行を防止できた」と指摘されたとおりであり、「区財政は赤字である」「財政健全化計画が少しずつ効果を上げたもの」との区長の認識は正確ではない。同時に、土地開発公社への貸付金の減額による債務負担額の累積や投資的経費の増額等により、将来にわたる財政負担を増やしていることも指摘しておく。

第二に、長期の不況に苦しんでいる区民の暮らしを支えようとする姿勢が見えないということである。鈴木区長は、高齢者福祉手当等の削減、保育料の値上げや区立幼稚園の廃園、学校統廃合など、負担増と切り捨てを進める一方、2・2・2住宅プラン等の大型開発事業には金を注ぐなどした。

介護保険特別会計については、「最後の一区になってもらえない」と、負担軽減に取り組む姿勢がないだけでなく、負担軽減を行うところは、政府であっても敵視する異常な態度が明らかになった。区民の願いに背を向ける姿勢は、到底容認できるものではない。他自治体が負担軽減を実施していることや、財源にも問題ないことから、早急に取り組まれるよう強く望む。

日本共産党は、当初予算に対し、具体的な修正案を提案したが、この方向こそ区民の暮らしを守り、財政再建を進める道であることを指摘する。

最後に、本決算特別委員会において、我が党各委員から区政全般にわたる数多くの提案、要望については、区民の声と真摯に受けとめ、来年度の予算編成に反映させると同時に、区政執行に当るよう要望する。

足立区議会民主党

一般会計・介護保険特別会計……………認定
国民健康保険・老人保健医療・用地特別会計…認定

平成12年度予算編成に向け区当局は、景気の回復が望めない中で区内中小企業の経済状況は悪化の傾向にあるが、平成10年末には、倒産件数の減少により改善傾向もみられると、やや楽観的な分析を行っていた。

また、自己決定・自己責任で解決する分権型社会を創造する必要があるとの認識も示されていた。

本決算は、地方分権・都区制度改革が実現し、清掃事業をはじめ37事業が移管され、また、介護保険の導入、そして、第四次基本計画の初年度となり、4つの重点政策、5つの重点施策を掲げ執行されたものである。

鈴木区長は、就任早々「赤字体質からの脱却」を決意し、「財政健全化計画」を策定し、「早ければ平成12年度、遅くとも13年度まで」と目標を定め、財政の立て直しを図ろうと、グリーンペーパーを作成するなどして、区民に呼びかけたのである。その結果、実質単年度収支額の赤字幅も35億円から11億円まで縮小させるという成果を生み出したことは、評価致すところである。

同時に、経常収支比率も、85.6%と、前年度比4.2ポイント下げることであり、また、公債費比率も11.8%と、1.4ポイント改善することができた。これらのことは、財政健全化に向けて着実に成果と努力を示すものであると評価する。

しかし、財源確保が強く求められている今日、都区財政調整交付金の配分率をめぐり、区にとつて満足な結果を得られなかったことは、遺憾であると指摘する。

今後、自主財源の確保と、国・都に対し、補助金・交付金の獲得、超過負担の解消を追求し続けて頂きたい。また、収入未済額が58億円余あり、前年度比4億円余増となっている。厳しい社会情勢であることを考慮しつつも、公正性・公平性を求め、徴収努力を重ねられたい。

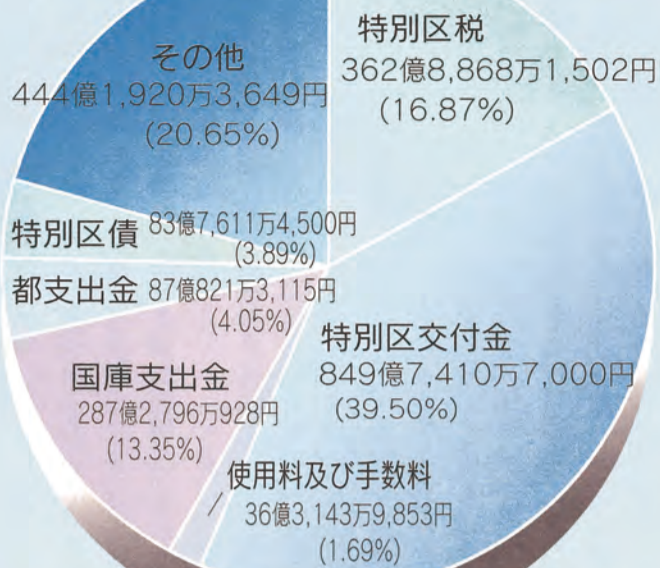
最後に、介護保険については、痴呆性高齢者に対するケアの問題、ケアマネージャーの処遇と、質的向上の問題、サービスの質的確保、保険料の徴収問題等々、問題が浮き彫りになってきている。区においても、制度の円滑な運営を図るための調査・研究は勿論、先進自治体からも積極的に学び、基本理念である利用者本位の制度であることを追求してほしいと要望する。

平成12年度各会計決算

一般会計

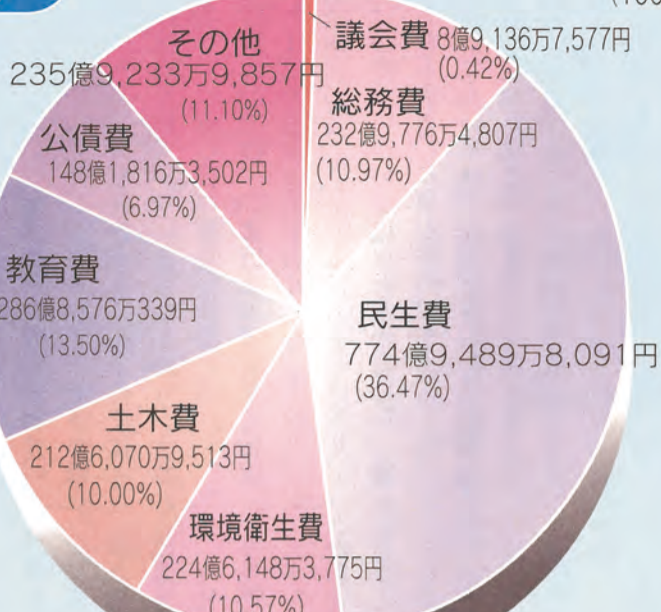
【歳入の部】

2,151億2,572万5,477円 (100%)



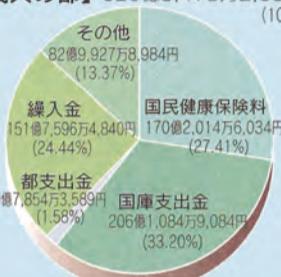
【歳出の部】

2,125億248万7,461円 (100%)

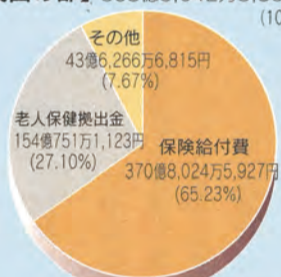


国民健康保険特別会計

【歳入の部】 620億8,478万2,531円 (100%)

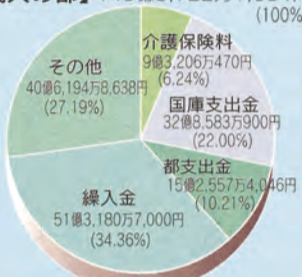


【歳出の部】 568億5,042万3,865円 (100%)

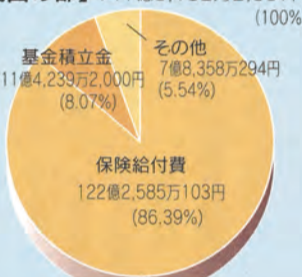


介護保険特別会計

【歳入の部】 149億3,722万1,054円 (100%)

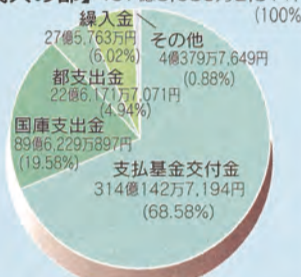


【歳出の部】 141億5,182万2,397円 (100%)

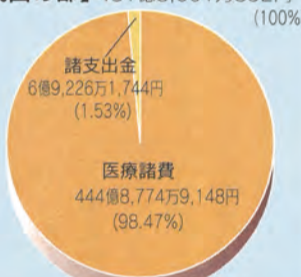


老人保健医療特別会計

【歳入の部】 457億8,686万2,811円 (100%)

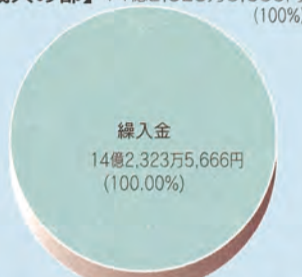


【歳出の部】 451億8,001万8,929円 (100%)



用地特別会計

【歳入の部】 14億2,323万5,666円 (100%)



【歳出の部】 14億2,323万5,666円 (100%)



今定例会で可決した

意見書・決議(要旨)

平和を脅かすテロ行為を非難する決議

九月十一日、ニューヨークの世界貿易センタービルを初め、ワシントンの国防総省等、世界の政治経済の中核が大規模な同時多発テロに見舞われた。その死傷者および行方不明者は五千人を超えているとも言われている。このことは人類史上まれに見る重大な犯罪行為である。特に旅客機を奪い、乗客・乗員を巻き添えにし自爆するという人命を全く無視したこの非人道的行為は民主主義、国際社会への挑戦であり、断じて許すことができない。

よって、足立区議会は、これらテロ行為を厳しく非難するとともに、犠牲になられた方々に対して哀悼の意を表わし、またこの事件に巻き込まれ被害を受けた方々に対して心からお見舞いを申し上げる次第である。

今後、世界の恒久平和と安全を守る立場から、テロ行為を人類全体の脅威と捉え、国連、地域機構等との連携のもと、対話による解決の方法など冷静な対応を強く求めるものである。

右、決議する。

足立区議会

薬害ヤコブ病問題の早期解決に関する意見書

厚生省の調査により、ヒト乾燥硬膜の移植を原因としてクロイツフェルト・ヤコブ病(以下「ヤコブ病」とする。)に罹患した患者が我が国において少なくとも七十例に達することが明らかとなった。

これは、死体から採取した脳硬膜がヤコブ病の原因因子に汚染されていたために起こったものであり、多くは発病後一、二年で死に至るなど、患者及び家族が受ける苦痛は甚大である。

これによる被害者の救済を図ることは、国民のひとしく願うところであり、とりわけ、現に

深刻な被害に苦しむヤコブ病患者とその家族を速やかに救済することは、人道上からも強く要請されるものである。

よって、足立区議会は、国会及び政府に対し、患者とその家族の救済を図るため、次の事項を実現するよう強く要請する。

記

一、これ以上、医薬品及び医療用具による被害で国民が苦しむことのないよう、その根絶策を講ずること。

二、ヒト乾燥硬膜の移植によるヤコブ病で苦しむ患者と家族の早期救済を行うこと。

三、薬害ヤコブ病問題を早期に全面解決すること。
(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣あて)

みなさんからの

請願・陳情

不採択にしたもの

○千寿第四小学校・柳原小学校の統合新校の校名候補「千寿常東小学校」の見直しに関する陳情

○「千住地域の小・中学校適正配置全体計画」の見直しに関する陳情

○千住地域の学校統廃合についての請願

以上3件の請願・陳情についてはその主旨に沿いかねる。

議会短信

◆交通問題対策特別委員の選任
ともし春久議員(足立区議会公明党)の辞職(平成13年6月14日付)に伴い、交通問題対策特別委員の選任がなされました。

交通問題対策特別委員

馬場 繁太郎

◆足立区議会議会派の構成◆

各会派の構成は、現在次のとおりとなっています。

足立区議会自由民主党	24人
足立区議会公明党	15人
日本共産党足立区議団	12人
足立区議会民主党	2人